

令和6年度(2024年度)三重県沿岸種資源評価

マナマコ

資源水準・動向

赤ナマコ: 低位・減少

青・黒ナマコ: 低位・減少

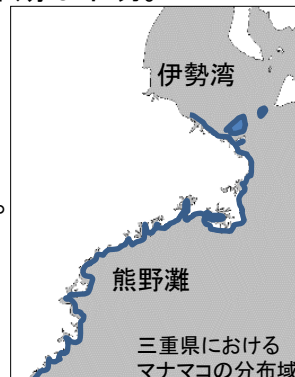


生物情報

- ・同種内に3タイプの色彩変異があるが、赤ナマコは外洋域、青・黒ナマコは内湾域に多く分布するため、赤ナマコと青・黒ナマコに分けられることが多い。
- ・赤ナマコの産卵期は2～3月、青ナマコの産卵期は3～6月、黒ナマコの産卵期は不明。
- ・青ナマコでは満1歳で体重約20g、満2歳で約120g、満3歳で約310g、満4歳で約470gとなる。

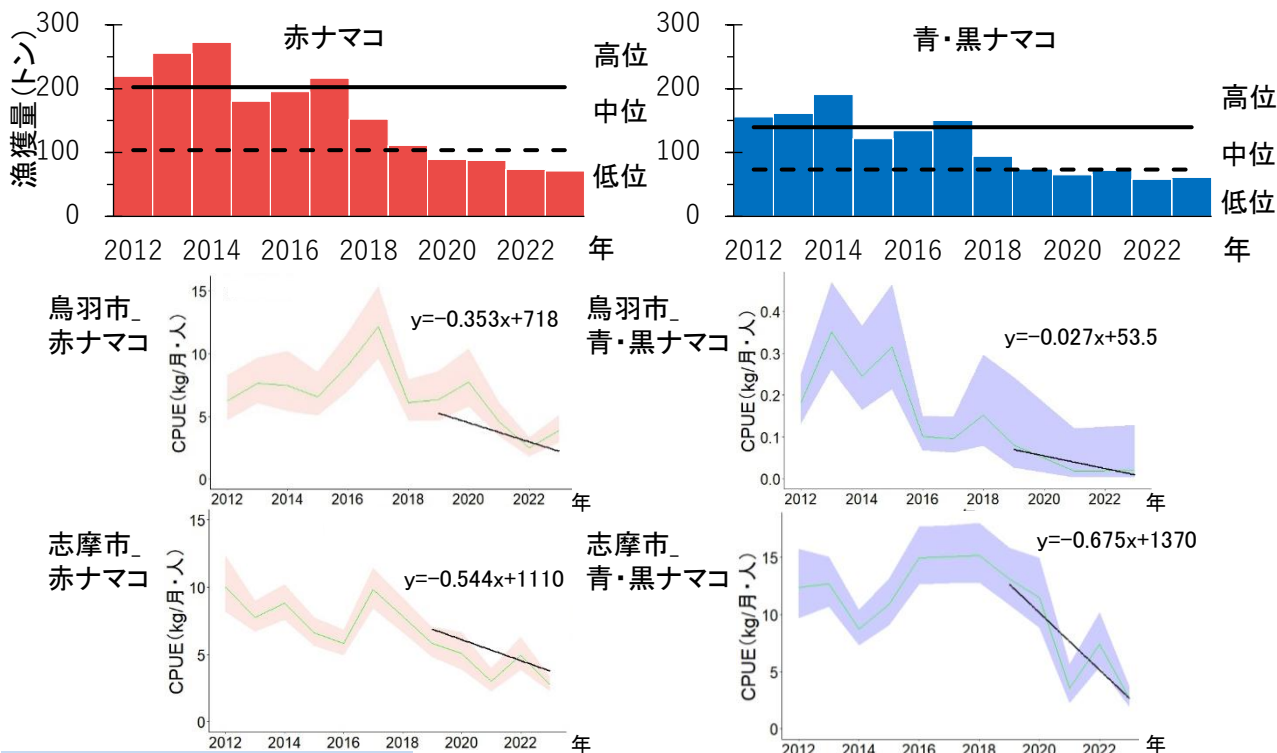
漁業の特徴

- ・赤ナマコは鳥羽市で漁獲量が多く、青・黒ナマコは志摩市で漁獲量が多い。漁獲盛期は冬季(12月・1月)。
- ・主にたも掬い漁業および海女漁業で漁獲される。



資源状態

- ・タイプ別の県内漁獲量から、資源水準は赤ナマコ、青・黒ナマコともに「低位」とした。
- ・鳥羽市および志摩市におけるタイプ別の標準化CPUEから、動向は赤ナマコ、青・黒ナマコともに「減少」とした。



資源管理の取組

- ・自主的な禁漁期の設定が行われている。

将来考えられる資源管理の取組

- ・漁獲サイズの制限による取組(実施するには体長や体重等の計測方法の開発が必要)